

2022 J3 ■順位表■ 第20節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

注: *印は消化試合が数字分少ない

1	いわき	42p	+28	42	14	H●
2	鹿児島	41p	+17	34	17	HO
1*3	藤枝	38p	+17	36	19	A●
4	松本	38p	+10	28	18	H●
5	愛媛	37p	+10	32	22	HO
6	富山	36p	+6	28	22	AO
7	長野	36p	+5	24	19	A△
8	今治	35p	+9	26	17	H● A●
9	岐阜	27p	-2	29	31	---
1*10	福島	25p	+2	21	19	AO
1*11	沼津	23p	-4	18	22	A●
12	北九州	23p	-6	20	26	A●
13	宮崎	20p	-6	20	26	AO
1*14	相模原	18p	-8	18	26	HO
15	讃岐	18p	-10	15	25	A● HO
16	八戸	16p	-20	13	33	H△
17	鳥取	15p	-17	24	41	HO A●
18	YS横浜	11p	-31	12	43	A△

次回HomeGame

第23節 vs.YSCC横浜

9/3 (土) 19:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日今日もここから
串かつ一杯煮込み 珍道中
串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です

<定休日:日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋
通りJR 岐阜駅
北口より
北西方面へ
徒歩約 10 分

★

アミカ

ドミ

イン

JR

岐阜駅

today's guest : 藤枝MYFC

2021 J3 8勝 8分12敗 勝ち点32:10位

直近の対決と結果

2022/05/04

J3 - 8節@藤枝サ

藤枝 4-3 岐阜

藤岡浩介x3 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	藤枝MYFC
2022/08/14 J3 - 20節@夢スタ 今治 1-0 岐阜	2022/07/30 J3 - 19節@藤枝サ 藤枝 2-1 鹿児島
2022/07/30 J3 - 19節@Axis 鳥取 4-0 岐阜	2022/07/23 J3 - 18節@藤枝サ 藤枝 3-1 北九州
2022/07/23 J3 - 18節@長良川 岐阜 2-1 讃岐	2022/07/17 J3 - 17節@Uスタ 宮崎 1-3 藤枝

●やっと3連勝した後に3連敗し、振り出しに戻ってシーズンの折り返しを迎えたFC岐阜。その後半戦の初戦、7/23 (土) 第18節・ホーム讃岐戦は、前半を1-1で折り返すと、後半54分に#38 藤岡浩介のゴールで勝ち越す。その後は讃岐の猛追を受けるが、何とかゴールを死守し、2-1で勝利。続く7/30 (土) 第19節・アウェイ鳥取戦で、連勝を達成したい岐阜だったが、17位・4連敗中の鳥取を相手に、まさかの4失点・無得点で惨敗。1週空けて、8/14 (日) 第20節・アウェイ今治戦で何とか立て直したい岐阜だったが、先制された1点が重く響き、0-1で連敗。

シーズン後半戦がはじまって3試合だというのに、絶望的な状況に陥ってしまったFC岐阜。順位は9位と変化が無いが、首位・いわきとの勝点差が15、2位・鹿児島との勝点差も14。8位・今治との勝点差でも8ある。一般的にJリーグでは、1試合で上位に追いつける勝点は1と言われている。残り試合は14、つまり、いわきには追いつけない計算となる。もちろん理論上は追いつけるのだが、今後もFC岐阜が全勝しても合計勝点は69。ほぼ『J3優勝・J2復帰』の目標達成は、残念ながら現在は奇跡的な確率となってしまった。しかし、だからと言って目標達成を諦めて良いはずがない。そして万が一、今季もまた目標が達成できない状況になったとしても、目の前の試合に、勝利するため全力を出さなくて良いはずがない。そんな選手はチームを去るべきだ。目の前の試合で、常に最後まで全力を尽くして戦い抜き、勝利を目指すチーム。それを最後まで応援するサポーター。それらの風景が、この街にJリーグがある意義の一つのハズだ。

さて、今節の対戦相手は藤枝MYFCだ。昨季から特例措置によりJ2ライセンスを取得しているが、昨年の順位は10位。今年は須藤大輔監督2年目体制で、序盤は成績が低迷したものの、徐々にチームは調子を上げてゆき、現在は破竹の6連勝中。前節は台風8号の影響により試合が中止となったために順位は3位だが、充分に昇格圏を狙える勝点であり、今のJ3で最も勢いのあるチームと言っても過言ではないだろう。当然ながら、今の岐阜が簡単に勝てる相手ではない。しかし、今節こそは最後まで勝利のために戦い抜き、そして勝ち点3を掴み取るひたむきなプレーを、僕ら岐阜サポーターに見せて欲しい。

藤枝で最も注意すべき選手には、#24 久保藤次郎を挙げる。帝京可児高・中京大と進んだルーキーだが、現在8ゴール。右ワイドからクロスを供給すると共に、自らもゴールを狙う選手だ。7月期の月間MVPにも選ばれ、現在J3でも注目され好調な選手と言っても良いだろう。また、藤枝の中盤には精度の高い左足を武器とする#7 鈴木惇が存在感を放っているし、そして、09年から岐阜に期限付移籍で在籍し3シーズン19ゴールを挙げた#10 押谷祐樹と、13年から岐阜に4年間に在籍した#18 水野泰輔に注目しない訳にはいかない。この夏に沼津から移籍した#38 渡邊りょうも、徐々に存在感を出してきている。要注意選手ばかりだ。藤枝との通算対戦成績は、岐阜の2勝1分2敗・9得点9失点。昨年のホーム最終戦・11/28 (日) 第29節では、お互いに決定機を決められずにスコアレスドロー。そして前回対戦の5/4 (水) アウェイ第8節は、後半だけで7点の奪い合い。岐阜は#38 藤岡浩介のハットトリックで追いついたものの、ATに4点目を決められて3-4で敗戦。3連敗を喫した岐阜は、三浦監督が退任する結果となった。今度こそは、最後まで集中を切らさずに勝利を手にした。

新型コロナ感染“第7波”の影響で、開催が中止される試合が増えているJリーグ。そのような中だけれど、3年ぶりに、僕らのスタジアムに「声援」が戻ってくる。天候と行動制限、そして感染拡大局面と「声出し応援」はかなり厳しい条件での実施になるが、僕らサポーターは改めて、ガイドラインを忠実に守った上で、応援を繰り広げよう。猛暑の岐阜で消耗しているであろう選手たちが、それでも最後まで走り抜き、戦い抜くことが出来るよう、その背中を押し続ける応援を続けよう。そういった僕らの想いに、選手たちも応えてくれると信じて。

(ささたく)

投稿募集!! gidaidohri@gmail.com

【第18節】岐阜 2-1 讃岐

●チームが、選手が、サポーターが渴望していた勝ち点3。シーズン後半戦の最初のゲームでようやく挙げることができた。立ち上がり早い時間帯、おそらく讃岐がゲームに入りきる前に先制点を挙げられたのは良かった。ヘニキのクロスにディフェンスの裏側から飛び込んだ山内寛史のゴール。ホーム開幕戦の第2節愛媛戦で、畑潤基が決めた2点目のゴールに似た形。

だが試合が進むにつれて讃岐も対応してきて、そして失点……。失点シーン、人数をかけてボールを奪いにいったまでは良かったのだけど、それを剥がされて綺麗に繋がれてフィニッシュ…敵ながら見事だったかな。

決勝点は藤岡浩介のゴール。田中順也のスルーパスに反応して、讃岐のディフェンダーに身体を当てられながらも、踏ん張って振り切ったのゴール。

試合全体を通してみると、決して褒められた内容ではなかったし、上位チーム相手には厳しいと言わざるを得ない。でももう内容云々言っている時期でも状況でもない。どんな泥臭いサッカーでも必要なのは勝ち点3。可能性がゼロでない限りは、ファイティングポーズを取り続けなければならないのだ。(岐阜の誇り)

●横山監督になって、7戦無敗・3連勝と好調で少し良い気分になってたら(苦笑)、あれよあれよと3連敗して前半戦・1巡目が終了。もう後半戦は負けられない、そのためにも、この讃岐戦は負けられない。しかも1巡目には敗北を喫している相手。ダブルなんか許される訳がない。

で、10試合振りにスタメン出場した#9山内寛史が前半5分に先制ゴール!こちらは7試合振りにスタメン出場した#5ヘニキが豊富な運動量で中盤のボールを拾うスタイルにしたのも、功を奏したかもしれない。ただ、その後は試合の流れを讃岐に掴まれ、ええと……なんですかあの失点は!?確かに中に折り返されてたけど、枚数は足りてたはず。なのに、2名がスライディングして、しかも2名とも失敗したのでフリーになって……(溜息)。やっぱり、守備の弱さがどうしても目立ってしまう。フィジカル弱いし走れないしでは、J3のドリブル突撃を多用するチームには苦勞する……いや、してるよね…(溜息)。同点に追いつかれてから攻勢を強める岐阜だが得点は奪えずに前半終了。しかし後半54分、#15TJのスルーパスに抜け出した#38藤岡浩介の勝ち越し弾!ただ、この後が長かった……(苦笑)。再び讃岐に試合の主導権を握られ、我慢の時間帯が続く。うーん……申し訳ないけど下位の讃岐に、どうしてここまで苦しめられるの?相手の勢いをいなしてカウンターで追加点とかさあ…。まあ、負けるよりは百万倍マシな結果なのでですけど、どうしてもモヤモヤする内容。とりあえず連敗は3で止めた。これから再び、内容の伴う勝利を見せてほしいものです。(ささたく)

●いや〜、正直、黄金週間のピカスタに続いて、苦汁を飲まされるトコだった。美しかったね、讃岐の同点弾。外、中、外と万遍なく使われたよ。で、決めたのは、また、松本クンかい?今季2試合で3点決められたのかな?やれやれ。

それに対して、ウチはかき混ぜた納豆のような攻撃。目の細かい卸し器で卸した大根おろしのような守備。朝ごはんのメニューだったら、イイ組み合わせなんだけどなあ。今後、一発大逆転を決められそうな要素が見当たらなかったのがツライよね。

とにかく、この後にやるべきことは3つ。讃岐のように、前半戦で負けた相手には借りを返すコト。出来れば、熨斗を付けて。特に今治にはゼツタイだぞ!

次に、前半戦で引き分けた相手とはキッチリとケリをつけるコト。最後に、前半戦で勝った相手は返り討ちにするコト。つまり、全部、勝て。そしたら、もしかすると、もしかするかもしれない。まずは、次のアウェイ・鳥取戦。何としても、勝ってきてください。(ぐん、)

●6/12の第12節、鹿兒島戦以来一月半ぶりのホームでの勝利。そりゃ嬉しいよねえ……嬉しいよね?と周囲に確認したくなる、そんな試合。讃岐戦号にも書いたけれど、岐阜がリーグ後半戦を『全勝』(17勝0分0敗)して初めて、昇格圏内の2チームがリーグ前半戦のままの勝ち点ペースでも抜ける。そんな状況なんだから、内容より勝利。勝利あるのみ。その勝利をちゃんと掴んだのだから、否定や批判をされるべきものはどこにもない。にも関わらず、こんなにもどんよりとしてしまうのは、やはり「このサッカーで残り16戦全勝はかなり困難なタスクだ」という印象から……だろうね。(吉田铸造)

【第19節】鳥取 4-0 岐阜

●なんとか讃岐戦で勝つことができ、一息ついた岐阜。次の対戦相手は17位の鳥取。他チームのことを言えた戦績ではないけれど(苦笑)、鳥取は現在4連敗中。もちろん簡単に勝てる試合なんて一つもないけれど、ここで鳥取にしっかり勝って連勝を達成して、シーズン後半戦に勢いをつけて……と、岐阜の誰もが思っていたはずだ。そう信じたいのだけれど……もしかして、相手をナメてました?そう言いたくなってしまうのは、非常に残念ながら、たぶん僕だけでは無いだろう。試合開始から、岐阜の選手たちの動きがどうにも鈍い。確かに鳥取は蒸し暑かったし、岐阜でも猛暑が続いてた。んで、ここ数シーズンずっと夏場に失速してると思うんですけど、何も対策してないの?夏場に走り負けるような鍛え方では、岐阜ではやっていけないと思うんですが……(溜息)。んで、鳥取の人数かけたカウンターに戻りきれずに失点、しかも石川大地に献上ってさあ……(溜息)。やっぱり、古巣のウチを相手にする大地だけじゃなくて、鳥取の選手たちは有名選手が揃うウチが相手だから、普段以上に気合い入ってるんだと思う。そう考えてみたら、ウチはほぼ常に、普段よりも気持ちの入ったチームを相手にしてるんじゃないだろうか。だとすると、それを上回る迫力を常に出さないと……うん、出せてないですね(溜息)。まあ鳥取の2点目は、良いコースを狙ったロングシュートではありました。だけど、2点差つけられたのに、その後どうして攻勢に入らないの?後半になっても、攻撃のスイッチが入らないまま。3点目を奪われても、必死に走ってボールを追って、多少強引にでもシュートを撃つといった姿が、岐阜の選手たちに見られない。後半ATに4点目を奪われて、そのまま抵抗らしい抵抗も見せられないまま、試合終了。岐阜のシュート数は、わずかに4本。もちろん数撃ちちゃ良いってものでもないけれど、それにしあって少なすぎる。枠内シュートは……もしかしたらゼロ!?到底、必死に勝とうと思ってるチームのスタッツとは考えられない。激昂しながら僕はさっさと帰ったので、後のことはよく知らない。ただ、#42柏木陽介が欠場すると、こんなチームになってしまうんだという事はよく分かった。確かにスペシャルな選手だ。だけど、彼がいない時に、自分たちで何とかしようとする他の選手たちが考えないのならば、何のための“チーム”なのかと、僕は尋ねたい。(ささたく)

●ウチとの試合前の時点で17位。つまりブービー。そして、前節、2点リードから終盤に3点取られての逆転負けで4連敗中。そんな相手に0-4の完敗。

大地の「またかよ。」な恩返し弾から始まり、高卒ルーキーのJ初ゴール、締めくくりは前節、ようやくJ初ゴールを決めたい若手に、この日2点目のミドルを決められてジ・エンド。オマケは鳥取市民デーですか。鳥取市民の皆様、よかったですね。

長良川では3-0だったのに、3点どころか、熨斗を付けてお返しをするとか、いやはや、まったく、義理堅いコトで。内容的にもまったく見所がない試合。いや、後半は多少見られるようになったのかな?けど、まだ、0-5の今治戦のがマシだった。オフサイドだったけど、2回もネットを揺らしたし、主導権を握る時間帯もあったから。なのに……。

他のクラブがシーズンが深まるにつれ成熟していくのに、この期に及んで個人技頼み。3年連続3回目のセリフです。「正直、J3をナメてませんか?」。指揮官選び、しかり。選手編成、しかり。選手起用もそう。今、一番、点を取れてるのは誰なのか。出場時間は短いけど、その中でも結果を出してるのは誰なのか。そういう選手をサイドで使ったり、ベンチに置いたり。年齢的にも精神的にも盛りを迎える選手なのに軸にしないし、できない編成……。ま、いいでしょう。時間はタツプリあります。史上最速で昇格の希望は潰え……。ああ、数字上は確かにね。可能性はあるんだけどね。

とにかく、長良川では勝て。その日訪れた、ホームの観客に喜ばれる試合をする。ソレしかないでしょ。で、繰り返しますが、時間がタツプリできました。『目標達成見込超薄』になるのが早いのも悪くないですね。念のため、申し添えますがコレは皮肉です。

ま、それはともかく、調べて検討する時間はあるはず。誠実に検証をやってください。その結果が、「今季のメンバーでは足りなかった。もっと銀河系にする。」でも構いませんよ?で、指揮官に再びミウミウを招聘したっていいんです。「岐阜は昇格します」と言ってたんだから、責任取ってもらいます、つてのもアリかと。フロントが熟慮の結果で決めたんならいいんじゃないでしょうか。今後の楽しみが増えました。期待しています。(ぐん)

●NHK岐阜のローカルニュース番組『まるっと!ぎふ』のヘッドラインで「惨敗」としっかり書かれてしまって、さらにそれに対して「うんうん、そうだよ」と気持ちよく頷くしか出来ない。そんな試合。

DAZNで視た感想では、たとえば時代劇『暴れん坊将軍』で、ボスキャラが登場する前に名乗ることも出来ずにバツバツと切り捨てられる殺陣(たて)のシーン。これが、「残り全勝、17連勝すればなんとかなるかも?」と1オングストロームくらいの希望で入った後期戦の初戦を勝ったチームの、2戦目ですか。マンガ『ねじ式』の表現を借りれば「なるほどポキン」と折れてしまったひと、少なくないでしょう。試合後に、選手は「俺たちは諦めない」とか、言ったのかな?そりゃそう言いますよ、俺は諦めた」なんて言ったら試合に使ってもらえないじゃん(笑)。(吉田鑄造)

【第20節】今治1-0岐阜

●う〜ん、また、オフサイドか……。今治戦は副審との相性がごとくとくハズレになるね。

かといって、主審との相性がいいワケでもないけど。いや、判定がどうのこうの、という問題じゃないのは承知してます。ほぼ、主導権を握っていた中で得点できなかったこと。それがすべて。そして、それが現在の力量、戦闘力なんでしょうね。カードを受けたせいもあるけど、ゴール前の混戦から決められてしまうのは春先と同じ。結局、熟成も修正もできなかったということですね。残念です。しかし、よりもよって、今治に……。ですか。シーズン通じて無得点。長良川の雪辱も果たせませんでした。返す返すも残念です。DAZNの実況で「銀河系、銀河系。」と連呼されるのは、傷口に塩とハラペーニョを擦り込まれているようで、ホントにもう……。(いや、体験したことはないんですけどね)。

陽介は何を話しに行ったのかな?ウガはなんて言ったんだろう?今度の長良川ではゼツタイ勝つから……。とか言ってくれたのかな?だとイイな。

いずれにせよ、今季の夢や目標云々を言ってる状況ではなくなりました。あとは、目の前の試合に全力を尽くすのみ。とにかく、長良川では全部勝て。観戦に来たファン、サポーター、そして、スポンサー様が笑顔で帰途に就けるような結果だけを求めます。それだけのために全力を尽くしてください。声を出せる席での観戦じゃないのが申し訳ないけど、勝利を願って応援します。(ぐん)

●あまりにも衝撃的かつ絶望的だった、大差での敗戦。その翌週に試合がなく2週間空いたのでリフレッシュも戦術の見直しもできた(と思う)のは幸いだった。そして、ようやく#42 柏木陽介がピッチに戻ってきてくれた。彼のいなかった前回対戦では0-5の大敗、さて今回は……。と、スタメンのCBタイプが#2 フレイレと#17 藤谷匠の2人なら、そら4バックやと思うやん?なして3バック?(苦笑)まあ今まで3バックでやってたから慣れてるってのも分かるけれど、守備的4バックでも良いのでは……。

さて試合は序盤から岐阜のペース。んで、#42 柏木がボールを受け、出し、回収して、再び岐阜の攻撃を組み立てる。明らかに運動性が生まれていて、今の岐阜は名実ともに『柏木システム』あるいは『柏木のチーム』と呼ぶべきなのだ、改めて僕は痛感した。だけど、#42 柏木が走り回ること、そのシステムが辛うじて成立しているようにも見えた。肉離れで5試合離脱したのだから、無理して走り回った結果じゃなかったらどうか(少なくとも、僕にはそう見えた)。ならば、彼の運動量をサポートする“猟犬タイプ”の選手が必要なんじゃないだろうか。この試合でも、かなり負荷がかかっているように僕には見えた。それと、岐阜の攻撃陣がボールを保持するのは良いんだけど、決定機は作れていなかった。それに積極的にシュートを撃つのは好ましいことではあるけれど、枠に飛んでたっけ?そして守備は……。なんか、軽い……(溜息)。

腕を使いすぎて早い時間帯にイエローを貰ったのも原因だろうけれど、失点シーンでも人数がいたのに簡単に突破され、わずかなチャンスを決められてしまった。後半も岐阜がボールを保持しつつ、でも決定機を作れずにいると今治のカウンター発動……。の繰り返し。#17 藤谷匠のヘッドは惜しくもオフサイド、#16 富樫佑太のヘッドは相手GKのファインセーブに阻まれた。それ以外って……。枠内シュートあつたっけ?まあ、数えられる分だけ、鳥取戦よりはマシだったのかもしれない(溜息)。後半ATには#17 藤谷が2枚目のイエローで退場になって万事休す。えーと、これで#17 藤谷は次節欠場だし、途中交代した#2 フレイレも傷んでるように見えた。#27 本石捺は高知にレンタルに出しちゃったし、#26 小山新も負傷中……。CBが足りなくない!?第2ウインダー(移籍期間)も8/12(金)で閉じちゃったし。あとは育成型レンタルだけ?どーすんのこれ……。(溜息)。

攻撃面でも守備面でも、不安材料ばかり。とりあえず、ホーム戦では、勝利を目指した全力プレーを、そして勝利を僕らに見せてください。ね……。 (ささたく)

●宇宙は広いですから、どこかにはこんな『銀河系』もあるんでしょうね、という試合。攻めてはいました。ええ、たしかに攻めてはいましたね。試合が終わって、攻撃の時間が長い方にはボーナスポイントの1点が入るのかもしれませんが、その銀河系では。

鳥取戦で負けて、J2昇格の可能性はもはや10万馬券というかジャックポットというかロングフリーズというか、そんな状況。なので、アウェー戦の結果については問いません。ホームでは勝つ。必ず勝つ。ぼくらはチケットを買って、つまりFC岐阜におカネを払って試合を観に行く『顧客』です。顧客は満足させてください。そのためにアウェー戦が犠牲になるのは、もう何の問題もないです。そういう戦況ですから。とはいえ、昨年と同カードではアユムが顔面にまわし蹴りを喰らって鼻骨をへし折られても相手のファールにならず、今年は相手のGKとDFが激突しただけなのに岐阜のファールに。あれはいったい誰のファールだったんでしょうね。いっそ、「桐畑の遠隔ファールだ」ってんで彼に警告を出してもらった方が酒の肴になります。もはや、このスタジアムは「そういうところ」なんだと思うしかないです。今治さんは、とっとと新スタジアムを作ってください。(吉田鑄造)